

令和2年2月14日

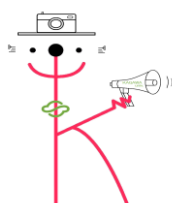
国立大学法人香川大学イノベーションデザイン研究所 シンポジウムの開催について

イノベーションデザイン研究所では、「組織」対「組織」で実施する「特別共同研究」を設け、分野横断的な研究テーマの創出・提案及び知財管理等に関するマネジメント等を一体的に行っているところですが、この度、本研究所が主催し、香川大学創立70周年記念事業としてシンポジウムを開催する運びとなりました。

本研究所が行う研究内容の紹介のほか、株式会社日本総合研究所 主席研究員 藻谷浩介氏をお招きし、「四国の活性化と香川大学の役割」と題した特別講演や、本学学長との対談を行っていただき、今後の香川県、四国地域の発展や持続可能な地方分散型社会を実現するため、大学の果たすべき役割についてご提言をいただくこととしております。

<シンポジウム>

1. 日 時 令和2年2月22日（土） 13:30~16:10（受付開始 13:00~）
2. 場 所 ホテル パールガーデン 6階 インベリアル（香川県高松市福岡町2-2-1）
※ホテルの駐車場をご利用ください。
3. プログラム 別紙「香川大学イノベーションデザイン研究所シンポジウム」チラシを参照



問い合わせ先

〒760-8521 香川県高松市幸町 1-1

香川大学地域・産学官連携戦略室担当 入屋、石田

TEL:087-832-1631 FAX:087-832-1357

E-mail: tokatsu@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

香川大学イノベーションデザイン研究所シンポジウム

(イノベーションデザイン研究所:ID 研究所)



参加費無料 定員180名

シンポジウム テーマ

「持続可能な地方分散型社会の実現に向けて」

日時 令和2年2月22日(土) 時間 13:30~16:10

会場 ホテル パールガーデン(高松市福岡町2-2-1 TEL:087-821-8500)

<プログラム>

~~~~~ シンポジウム開始 13:30 ~~~~~

1) 主催者挨拶 国立大学法人香川大学長 笥 善行

2) ID 研究所における研究紹介

▷ 観光分野における研究 : 株式会社リコー 様

▷ MaaS 研究 : あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 様

▷ ID 研究所のオープンイノベーションについて : 松木則夫

(副学長(研究・IR 推進 特命担当) 兼 ID 研究所 所長)

~~~~~ 休憩・ステージ設定 14:15~14:30 ~~~~~

3) 藻谷浩介氏特別講演(14:30~15:30)

テーマ : 「四国の活性化と香川大学の役割」

4) 藻谷浩介氏と笥善行学長による未来志向対談(15:35~16:05)

テーマ : 「持続可能な地方分散型社会の実現に向けて、地方大学の役割とは」

ファシリテーター : 城下悦夫(副学長(産官学連携 特命担当) 兼 ID 研究所統括マネージャー)

5) 閉会挨拶 片岡郁雄(理事・副学長(研究・産官学連携・教員評価担当))

~~~~~ シンポジウム終了 16:10 ~~~~~

#### 講師紹介

またに こうすけ  
藻谷 浩介氏



©青木優佳氏

(株)日本総合研究所 主席研究員

(株)日本政策投資銀行 地域企画部 特任顧問

特定非営利活動法人 ComPus

地域経営支援ネットワーク 理事長

山口県生まれの55歳。平成合併前3,200市町村のすべて、海外105ヶ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。2000年頃より、地域振興や人口成熟問題に関し精力的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。著書に「デフレの正体」、第七回新書大賞を受賞した「里山資本主義(共に角川Oneテーマ21)」、金融緩和の罫(集英社新書)、しなやかな日本列島のつくりかた(新潮社 7名の方との対談集)、近著に、世界まちかど地政学 NEXT(文藝春秋)、毎日新聞出版社の「世界まちかど地政学」と合わせてぜひお読みください。